

第39回人権講演会から

講師 村上 新悟 氏

“役者は『生涯修業』”



平成29年8月21日(月)
於/小山市立文化センター

第1部

今年度の人権講演会は、2部構成で行われました。まずはじめに、講師としてお招きしました小山市出身の俳優村上新悟氏の出身校である、小山工業高等専門学校ハンドベル部の皆様のオープニング演奏により、開会されました。

その後、村上新悟氏の“小山評定ふるさと大使”委嘱状交付式を経て、「栃木県人権に関する作文コンクール中学生入賞者による作文の朗読」と「高校生人権映像作品コンクール入賞作品放映」、そして「小山市いじめ等防止市民会議委員の皆様による報告」などが行われました。

第2部

第2部では、俳優の村上新悟氏をお招きし、NHK宇都宮放送局のアナウンサーとして活躍されている磯野佑子氏を進行役にトークショー形式での人権講演会が行われました。ここでは、その講演の一部をご紹介します。

講演会前半は、磯野アナウンサーの軽快な進行のもと、村上氏の“ひと”についての質問と回答に、会場内では和やかで楽しい時間が過ぎていきました。村上氏は、旭小、小山城南中、小山高専を卒業。会場には、中学、高専時代の担任の先生方も駆けつけて、トークに加わっていただきました。少年期の村上氏は、活発で行動的な一面と物事を冷めた目で少し斜めに見るような一面とを併せ持っていたそうです。

講演会も後半に入り「俳優 村上新悟」としてのお話を中心になると、和やかな雰囲気の中にも厳しさや真剣さが顔をのぞかせました。村上氏は、2001年からの15年間、俳優の仲代達矢氏が主宰する「無名塾」に所属され、苦学しながら役者としての心構えや演技の基礎を学んでいったそうです。そして2年前、40歳で、一役者として勝負をかけようと無名塾を退塾されました。翌、2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」では、戦国時代の武将として人気の高い直江兼続役を好演して注目され、その知名度も全国区となりました。村上氏は、「役者の醍醐味は、経験できない人生を送れること。俳優という仕事を通して、自分自身を見直し、再発見できることもある。」と説明。講演の終末には、村上氏が谷川俊太郎氏の詩『生きる』と『おやま子 いじめゼロ宣言』を朗読され、「人権とは、人間が人間らしく生きるために、無条件に与えられている権利だと思う。だとすると、人間って何だろう?と考える。～人間とは何か?～その答えを見つけるためにも俳優を続けていきたい。それが『生涯修業』だと思っている」と話されました。

(人権講演会講話内容からリーフレット用にまとめたものです)

2017(平成29)年12月発行



小山市役所人権推進課

☎0285-22-9292

小山市教育委員会生涯学習課

☎0285-22-9663

人権相談

毎月第2金曜日(予約不要)午前10時～

午後3時

小山市役所内(場所は人権推進課にお問い合わせください。)

ホームページ「小山人権の扉」

URL <http://www.oyama-tcg.ed.jp/~jinken/>